

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和7年11月21日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	名港海運株式会社
所在地	〒455-8650 愛知県名古屋市港区入船二丁目4番6号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 高橋 広
担当者連絡先	電話：052-661-8244 メール：yasuharu.makino@meiko-trans.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.meiko-trans.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は、港湾運送を主軸とする総合物流企業です。名古屋港ではトップクラスのシェアを誇り、「海・陸・空」の各輸送モードを組み合わせた最適な物流サービスを提供しています。

主な事業は、港湾での貨物積卸しから、倉庫での保管・流通加工、陸上・航空輸送に至るまで、国内外のネットワークを活かした一貫した物流サービスです。50年以上の歴史で培ったノウハウと、グローバルな物流ネットワークを強みに、お客様の多様なニーズに貢献しています。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	・気候変動への具体的な取組み ・脱炭素社会実現に向けた対応	・全事業所の照明に占めるLED照明の割合を100%にする。 ・新規建設する倉庫の屋根への太陽光発電設備導入率を100%にする。
□環境 ✓社会 ✓経済	・事業継続の体制構築 ・企業、組織レジリエンスの強化	・南海トラフ新基準、防災に関する新技術に対応したBCPマニュアルの見直し、体制の構築、実践的な訓練の実施。
□環境 ✓社会 ✓経済	・地域社会への貢献 ・事業を通じた経済への貢献 ・従業員の労働生産性の向上 ・働き方改革から働きがい改革へ	・地域貢献活動への積極参加や寄付行為の継続実施。 ・物流拠点へのトラックバース予約システムの導入、業務のICT化、最新機器導入による省力化・省人化の推進。

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・ICTツールを導入し、ペーパーレス化を進めている。 ・フォークリフトには再生タイヤを使用し、資源の有効活用とCO2排出量削減に取り組んでいます。 ・制服をリサイクルする為のリサイクルBOXを設置し、リサイクルセンターにて再資源化し、自動車の断熱材等に再製品化している。										9.4		12.2 12.4 12.5	13.2		
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・毎月のエネルギー使用量を記録し、エネルギー原単位の改善に取り組んでいる。							7.3					13.2			
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・環境パフォーマンスデータを集計しており、照明のLED化や太陽光発電設備、バッテリーフォークリフトの導入等によりCO2排出量の削減を進めている。						7.2 7.3					13.2				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・有害物質の洗浄を行なう拠点では、排水処理設備を用い、処理水が排水基準値以下になった事を確認後、適切な処理を行っている。		3.9		6.3							12.4				
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・藤前干潟クリーン大作戦への参加をし、従業員に生物多様性について考える機会にしている。			6.6								14.1 15.1 15.4				
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・環境パフォーマンスデータとして集計し、分析を行っている。 ・名港タンクデポでは、検査用水の貯水タンクを設け、水を再利用し、年間約5,000m ³ の水利用を削減している。			6.4												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している																
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・HP上で取組み内容を公開している (太陽光発電設備導入やモーダルシフト推進)											12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・設置可能な事業拠点には、太陽光発電設備を導入し、クリーンエネルギーを生み出している。			7.2								13.2				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・一部の車両にB5燃料を使用し、コンテナドレーを行っている。											12.2 12.7	13.2			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・一部部署においてISO9001を取得している。 ・物流拠点や事業所毎に作業手順書の整備を行っている。										9.4		12.4 12.6			
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・物流拠点や事業所毎に、品質、安全、生産性に関する改善活動に日々取り組んでいる。 ・定期的に業務監査を実施している。										9.4					
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・輸送車両から排出されるCO2削減に向け、ステークホルダーとともに輸送車両のラウンド輸送やモーダルシフトに取り組んでいる。									9.1 9.4			13.2		17.17	
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・物流拠点や事業所では、トラックバース予約システム導入や出入荷作業に関する改善推進を図り、輸送車両の待機時間の削減、業務のICT化、省人化を進め、物流業界の労働人口減少問題に取り組んでいる。							8.2 8.5	9.1 9.4							17.17
社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・交通安全や消防等の地域公職を務めることにより、地域の生活安全に貢献している。 ・名古屋港BCP、経済団体の防災部会等に参加し、地域防災力の向上に貢献している。									11.b						17.17

上記以外で設定した取組項目